

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月）

留学先：東呉大学

氏名：大戸彩未

留学生活も残り一か月となりました。台湾では気温が 30 度を超える日が続いています。外ではすぐに日焼けしてしまうくらい暑さですが、教室や電車の中、お店の中などは冷房がよく効いているので毎日服装を決めるのが大変です。今回の報告書では、部活動での大会、サイクリングのイベント、台湾のお店などについて報告します。

### バレーボール大会

最初の報告書でも少し書きましたが、私は日本語学科のバレーボール部に所属しています。日本語学習者と交流する機会を作りたかったので参加したのですが、1年生でも想像以上に日本語を話すことができているととても驚いています。東呉大学では学科ごとに部があるので、バレーボール部だけでもたくさんのチームがあります。



5月5日に大学内の大会があったので、一緒に参加させてもらいました。スポーツはどの国でも同じだと思っていたので、試合前と試合後のあいさつの仕方が日本とは違うことに驚きました。2日目まで残ることはできませんでしたが、楽しい一日を過ごすことができました。大会の前の週には必勝祈願をしにみんなで行天宮というお寺へ行きました。台湾のお参りの仕方やマナーなどは何も知らない状態だったので、その都度教えてもらいながら参拝しました。神様についての説明などもしてくれて、とても勉強になりました。

### サイクリング

19日には大学のイベントのサイクリングに参加しました。いつも参加するイベントは留学生のためのものが多かったのですが、このイベントは現地の学生や大学の校長先生までも参加している大きなものでした。東呉大学から淡水という北の方の地域ま



で往復約 50km 走りましたが、当日はとても天気が良く気持ちよかったです。普段台北市内を移動するときは MRT という電車に乗ることがほとんどなので、いろいろな場所の景色を見ることができて面白かったです。川や山などの自然が多く、福井と少し似ていると感じるところ

もありました。淡水ではみんなでお昼ご飯を食べて、ビンゴや校長先生とのじゃんけん大会をして楽しみました。海を見る機会もなかなか無かったので、きれいな景色をたくさん見ることができて楽しかったです。

## 台湾のお店

台湾にはもちろん台湾料理のお店がたくさんありますが、それと同じくらい日本の薬局や飲食店もよく見かけます。私は友達と一緒に日本のラーメン屋さんや海鮮丼のお店などに行ってみました。日本語のメニューが置いてあったり、台湾人の店員さんでも「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などの日本語を使ったりしているお店がたくさんあって驚きました。片言でも日本語を話してくれているのは日本人にとってはとても嬉しいことだと思いました。



日用品やごはんを買うためにスーパーや薬局へよく行くのですが、そこで必ずと言っていいほど目にするのが「買一送一」「任選第2件6折」などの文字です。一つ買うともう一つ無料でもらうことができたり、二つ目は4割引きで買うことができたりするという意味です。初めのうちはどういう意味なのか知らないまま買っていました。買い方を工夫するとお得に買い物ができるようになりました。レジでの会話もだんだん聞き取れるようになってきて、英語で話してもらわなくても買い物ができるようになってきたので嬉しいです。

台湾料理はにおいが苦手だったので初めのうちはなかなか食べられませんでした。だんだん慣れてきて、あと一か月しかないということもあり、少しずつ食べてみるようになりました。



特に、食堂でいろいろなお店に行ってみようになりました。メニューは中国語のみなので、お店の前で単語を調べながらまだ食べたことがないものを選んでいきます。においが苦手でも食べてみると意外と美味しかったということがよくあるので、残りの一か月もどんどん新しい料理に挑戦していきたいです。